

八伏林道

小矢部市八講田地内から八伏にかけて林道を進むと、まず、右手に大きな土砂採取場が見えます。この土砂採取場には貝化石を含む地層が見られますが、現在も土砂採取中のため、見学するには所有者に事前にお問い合わせする必要があります。この露頭を過ぎると、道はのぼり坂になりますが、道沿いに数層の火山灰層が順番に露出し、中学校2分野の火山灰の観察に使えるガラス質の火山灰が簡単に手に入ります。これらの火山灰は、見かけ上はよく似ていて、あまり区別が付きにくいのですが、最近の研究で、堆積年代が少しずつわかってきました。地層が東へ傾斜しているため、西方向へ林道を上るとともに、年代の古い火山灰が見つかります。下の写真で紹介する火山灰の年代は、次のとおりです。



Sakai: 420万年前 (火山灰供給源は日本の南西部?)

谷口: 220-230万年前 (火山灰供給源は北アルプス)

01: 210万年前 (火山灰供給源は北アルプス)

えびす峠: 175万年前 (火山灰供給源穂高岳付近にあった火山)

なお、土砂採取層の貝化石層は、いわゆる大桑層の特徴を示す貝化石を含んでいますが、えびす峠火山灰層よりも上位の地層のため、貝化石層の堆積年代は、175万年前より新しいと考えられます。

参考文献 田村糸子、山崎晴雄、中村洋介 「富山積成盆地、北陸層群の広域テフラと第四紀テクトニクス」日本地質学会第117年学術大会 (2010年・富山) 見学旅行案内書



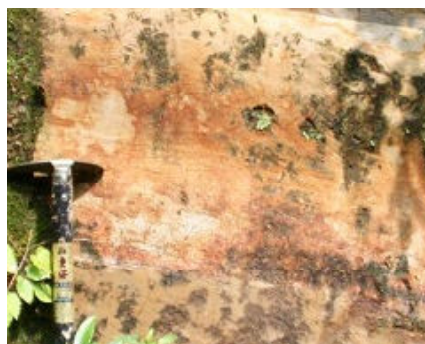
Sakai



谷口



01



えびす峠



大桑層の化石